

# ●相模ダムの水利用

## ●相模川水系の利水状況（沼本地点分）

単位 m<sup>3</sup>/s

	水道・かんがい					発電 <sup>※2</sup>	
	河水統制 (当初)	河水統制 (現在)	総合開発 (現在)	沼本合計 (現在)	高度利用I (現在) <sup>※1</sup>	相模発電所 (県営)	津久井発電所 (県営)
神奈川県 (畑地かんがい)	4.16	-	-	-	-	85.00 (31,000kW)	65.14 [1号32.57 2号32.57] <sup>※3</sup> (25,000kW)
神奈川県 (上水)	1.39	1.39	0.7	2.09	0.435		
横浜市 (上水・工水)	5.55	5.55	-	5.55	0.483		
川崎市 (上水・工水)	5.55	5.55	4.78	10.33	-		
横須賀市 (上水)	-	-	-	-	0.082		
合計	16.65	12.49	5.48	17.97	1.00	85.00	65.14

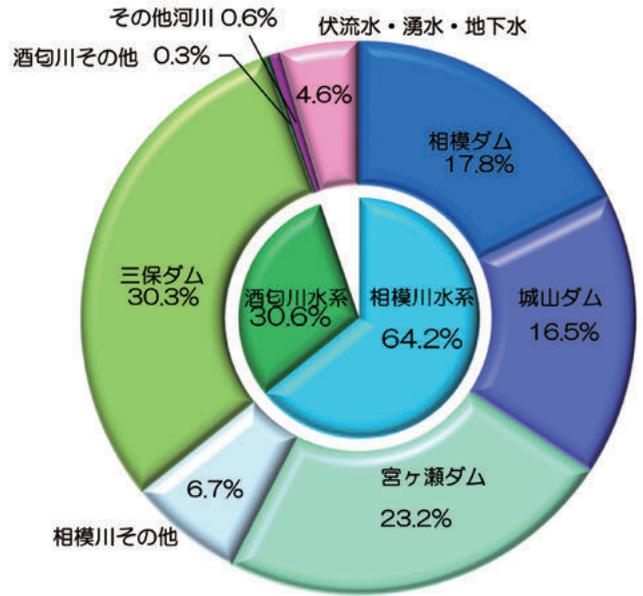
※1 畑地かんがいを転用し、寒川取水堰にて取水

※2 第2次増強事業を除く

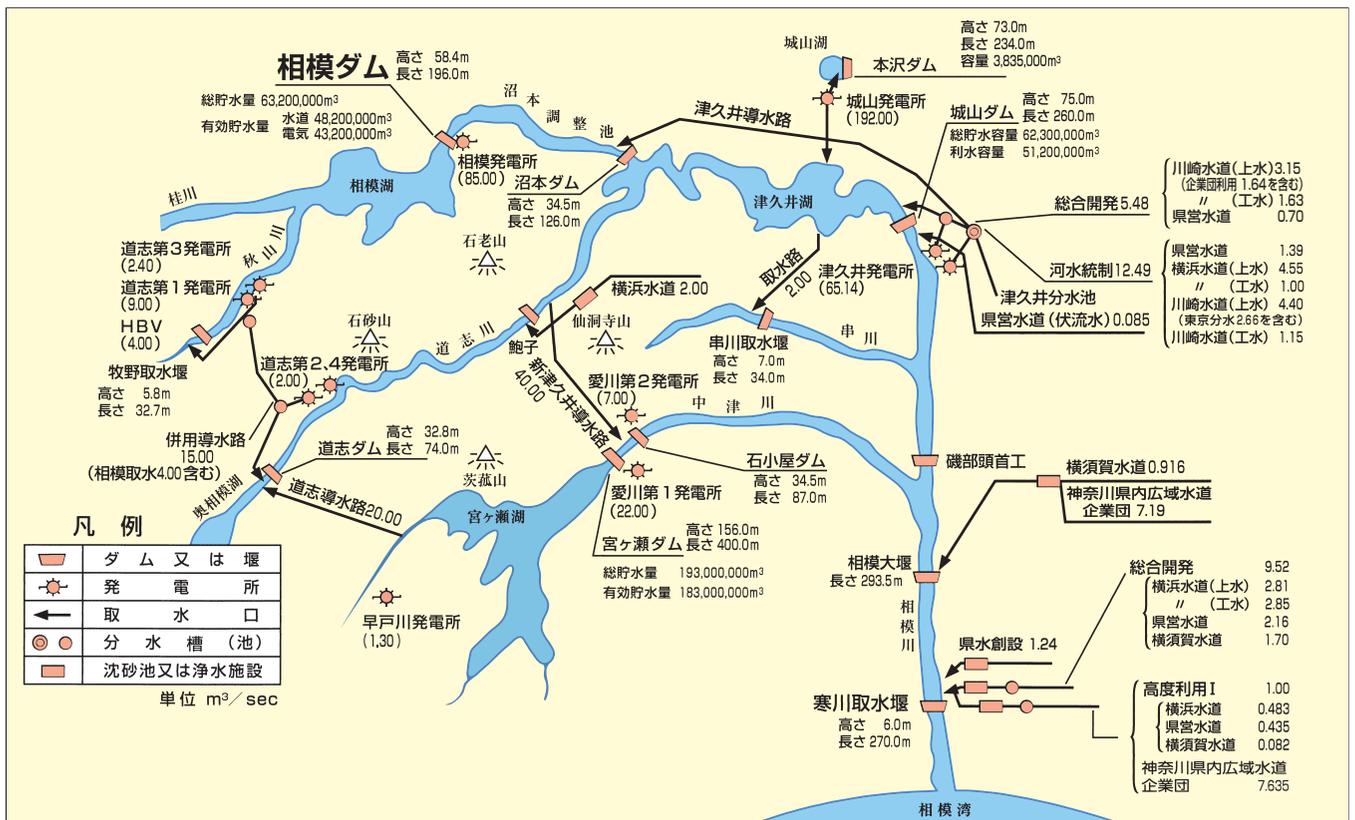
※3 1号発電機は城山ダムにて取水、2号機は沼本ダムにて取水

## ●神奈川県内の上水道の水源別構成比

(2025年4月1日現在)



## ●相模川水系利水状況概要図



# ●沼本ダムの役割



沼本ダムは、相模ダム直下の相模発電所でピーク発電を行った水を、安定的に水道用水などとして供給するとともに、下流河川に平準化した維持流量を放流するため、相模ダムとあわせて建設され、昭和18年に完成しました。

河水統制事業により生み出された水は、沼本ダム取水口で取水され、延長約6.3kmの導水路により津久井分水池まで導かれ、発電と各水道事業者へ分水供給されています。